

総務委員会会議録（要点筆記）

令和3年8月5日（木）

午前10時40分 開会

○山田清一委員長

ただいまから総務委員会を開会します。

議案第55号「令和3年度半田市一般会計補正予算第5号中当委員会に分割付託された案件」を議題とします。当局の補足説明を求めます。

【補足説明】（当局説明）

○榊原正彦財政課長

令和3年度半田市一般会計補正予算第5号の歳入分について、議案書の8、9ページをお願いします。19款繰入金、1項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金23億1千653万8千円の追加は、1節財政調整基金繰入金で、これは本補正予算で必要な財源を財政調整基金からの繰り入れで賄うものです。なお、地域振興券事業の財源とする財政調整基金につきましても、この補正予算及び令和4年度の債務負担を合わせた総事業費25億6千95万9千円を取り崩した場合の残高は17億4千748万6千円となる見込みです。

○山田清一委員長

補足説明は終わりました。ただ今から質疑を行います。ご質疑ありませんか。

○渡邊昭司委員

総務委員会で議案質疑として聞くべき内容から少しずれるのですが、先ほど本会議場で愛知県の標準財政規模を参考に、半田市の財政規模から考えると財政調整基金が40億円程度あった方が良いとの話が出ていましたが、私が議員になったばかりの頃は一般会計の1割程度財政調整基金があれば良いとの考え方があったと思う。自治体として必要な基金残高はその自治体の実施事業などによっても変わってくると思うが、最近では40億円という一定の金額が積みあがってきたので公共施設にかかる基金を積むことにしたなどの経緯もある。市として財政調整基金の必要な積立額への考え方を説明してください。

（「（議案で審査すべき内容から逸れるため）その他で聞くべきではないか」との声あり）

○榊原正彦財政課長

（半田市が）目指す財政調整基金の額につきましても、特に定めはなく、自主的に目標としているものではありませんが、県内における標準財政規模の平均値を目標に積み立ててきました。年により数値は前後しますが、概ね18パーセント程度となっており、そうしますと45億円という金額になりますので、それ（金額）を目安としています。

○山田清一委員長

ほかに、ご質疑ありませんか。

（「なし」との声あり。）

ないようですので、これで質疑を終わります。お諮りします。ただ今から討論を省略して、採決に入ります。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

ご異議なしと認めます。ただ今から採決を行います。

○山田清一委員長
暫く休憩します。

午前 10 時 47 分休憩
午前 10 時 48 分再開

○山田清一委員長
休憩を解き、会議を再開します。
ただ今から採決を行います。
本案は原案のとおり賛成の議員の挙手をお願いします。

【委員 7 名中、挙手 4 名】

挙手多数です。

よって、議案第 55 号「令和 3 年度半田市一般会計補正予算第 5 号」は、原案のとおり可決しました。

以上で、当委員会に付託されました議案は、審査を終了しました。なお、委員長報告は、正副委員長にご一任いただきたいと考えますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

ありがとうございました。

それでは、ほかに何かありましたらお願いします。

（「なし」との声あり）

ないようですので、本日の委員会はこれにて閉会いたします。

午前 10 時 50 分 閉会